



新しい外国語指導助手の モルウェナ先生が着任しました

こんにちは！私は新しく八雲町の外国語指導助手として勤めることとなった、モルウェナです。年齢は28歳でアイルランドのダブリン出身です。現在、アメリカのカリフォルニア州出身の夫、ショーンと一緒に暮らしており、私たちは八雲で生活することにとってもわくわくしています。

アイルランドはヨーロッパの中でも小さな島にあり、その大きさや人口は北海道に似ています。北海道と同じように、緑の大地とたくさんの牛のいる風景、バターやアイスクリーム、チョコレートといった乳製品で知られていますが、北海道と違うのは、ほとんど雪が降らないことです。その理由は1年を通して雨が多いからで、アイルランドでは「夏は1週間だけ！」とされています。

私が日本に来るのは2回目です。2017年から青森県深浦町で2年間外国語指導助手として勤務してしま



たが、家庭の事情で日本を離れなければならなくなり、それから小学校の先生になるために大学に戻りました。しかし、毎日日本を恋しく思っていたので、また、こうして日本で暮らせることがとても幸せです。私は美術や工芸、自然散歩やヨガが大好きで、夫のショーンも料理やゲーム、日本語の勉強を楽しんでいます。他にも、旅行や新しいことに挑戦することも大好きで楽しみにしていますので、街で私たちを見かけたら、ぜひ「ハロー！」と声をかけてください！

八雲分屯基地で 邦人保護訓練を公開

9月6日、防衛省は自衛隊法に基づく在外邦人の輸送訓練を公開で行いました。この訓練では、隊員が分屯基地を架空の国に見立てて在外邦人役の町民約20名の身元や航空機搭乗前の所持品チェックの手順などを確認していました。

邦人役を務める町民は空自輸送機に見立てた車両に乗り込み、架空の空港まで移動し身元などのチェックを終えるなどして訓練は終了しました。

山崎幸二統合幕僚長は「在外邦人の輸送はいつでも起こっても不思議ではない。訓練を通じて任務する備えを向上させていく。刻々と変化する情勢を的確に把握し、対応することが求められている」と述べていました。



マツダ陸上教室が 開催されました

9月3日、大新スポーツ公園陸上競技場にて八雲町で合宿（8月29日～9月5日）していたマツダ陸上競技部（長距離）が、社会貢献活動の一環として陸上教室を開催しました。28名の参加者は小学生・中高生の部に分かれ、選手と共に汗を流しながら楽しく参加していました。

小学生の部では、正しい走り方や瞬発力を向上させる遊びを選手と行い、楽しく活動する様子が見られました。

中高生の部では、基本動作を念入りに指導してもらい、選手も交えたリレーは大変盛り上がりました。

参加者の皆さんには、今回の教室で教わったことを生かし、今後の練習に励んでほしいと思います。また一人でも多く、自己ベスト更新や陸上の好きな子が増えると嬉しいと感じた教室でした。

